

次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	職業体験したい青少年が他にも数名いましたが、興味のある職種が無く体験に参加できませんでした。
引継ぎ 1	事前に体験者側にどのような職業を体験したいのかアンケートを採るといいと思います。
問題点 2	傷害保険を掛ける際に生年月日が必要でしたが、申込書に生年月日の記入欄が無く、教育支援教室と保護観察所に再度問い合わせをして職員さんに手間を掛けさせてしまいました。
引継ぎ 2	体験者側の申込書に生年月日に記入欄を入れてください。
問題点 3	コミュニケーションをとるのが苦手な青少年が多くいたように感じました。
引継ぎ 3	事前顔合わせを必ず行ってください。事前に顔合わせをすると当日に不安や緊張が解消できると思いますし、少しでも話しやすくなると思います。職業体験実施日の日時、集合場所、昼食の有無、服装などの打ち合わせも行ってください。必要事項の用紙を用意してあげると良いと思います。
問題点 4	青少年更生機関（保護観察所）を対象に行う場合は、教育支援教室に通う生徒とは違い、気を付けて行う必要があると思います。
引継ぎ 4	青少年更生機関（保護観察所）の青少年に関しては、事前顔合わせは法務局の保護観察所で青少年、保護者、担当保護司の 3 名と行い、体験当日は保護者同伴（もしくは担当保護司）で行うと保護観察所や企業側に安心していただけたと思います。
問題点 5	受け入れ企業が少なく、多くの企業に協力してもらうために考える必要がありました。
引継ぎ 5	受け入れ企業を増やすために、企業側に少しでもメリットがあると感じてもらうことによって応募が増える可能性があると考えられます。マッチングした企業は新聞に記載されるなど、メディアと連携してみるといいかもしれません。
問題点 6	体験者側になぜその企業を選んだのかアンケートに記入欄がなく、受け入れた企業側もなぜ選ばれたか分からないという問題がありました。
引継ぎ 6	体験者側にアンケートで、なぜその職業を希望したかの記載欄を入れると、受け入れた企業も理由が分かりますし、今後の企業を募る際に参考にもなると思います。
【予算面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	傷害保険等をかけていない家庭もあると思います。少しでも多くの青少年に体験をしていただくためと、受け入れ企業側にも安心していただくために保険を用意してあげる必要があると思います。
引継ぎ 1	傷害保険等を青年会議所で用意してあげてください。